

2020年9月18日

エア・ウォーター株式会社

「清掃工場から回収した二酸化炭素の資源化による炭素循環モデルの構築実証事業」
ごみ焼却炉排ガスからの二酸化炭素回収設備の開発に着手
～清掃工場から二酸化炭素を回収することにより炭素循環型社会の実現に貢献～

エア・ウォーター株式会社（代表取締役会長・CEO 豊田 喜久夫）は、環境省の実証事業である「清掃工場から回収した二酸化炭素の資源化による炭素循環モデルの構築実証事業」に、代表事業者である日立造船株式会社（本社：大阪府大阪市、三野 禎男社長兼 COO）から、二酸化炭素の分離、回収に係る事業範囲について再委託を受け、事業開始当初から参画しています。これまでに、ごみ焼却炉の排ガスから二酸化炭素を分離・回収する小規模な実証試験を行い、所定の二酸化炭素純度・回収率を達成できたことから、本年より商用規模でのごみ焼却炉排ガスからの二酸化炭素回収設備の開発に着手しましたので、お知らせします。

記

1. 実証事業における当社の役割

エア・ウォーターグループは、サステナビリティを巡る課題の中で、長年、産業ガス事業で培ってきたガステクノロジーや多彩な事業領域に対応する技術開発を深化させることで、脱炭素社会に対応し、環境負荷の低減に貢献する取り組みを進めています。

当社は、二酸化炭素の分離、回収に係る事業範囲についての再委託先として、清掃工場の排ガスから二酸化炭素を吸着剤により分離、回収する設備の設計・製作・実証を行います。

＜開発する二酸化炭素回収設備の仕様＞

二酸化炭素純度 : 80% 以上 二酸化炭素回収量 : 125Nm³/h (予定)

2. 実証事業の概要

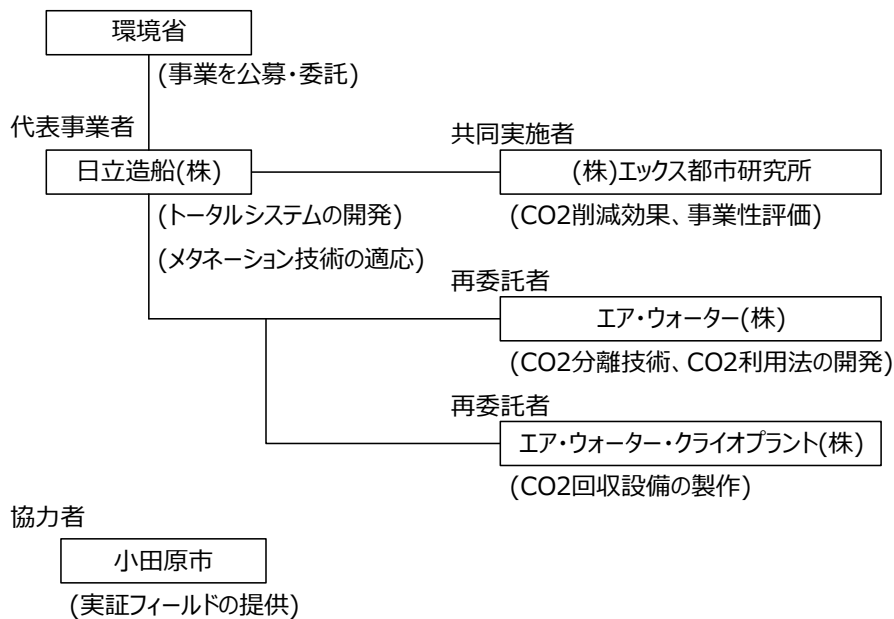
今般、環境省では、排出された二酸化炭素を資源として活用する技術を実用化することで、二酸化炭素の削減や炭素循環型社会の実現を目指しており、2018年度より「二酸化炭素の資源化を通じた炭素循環社会モデル構築促進事業」を実施しています。清掃工場から回収した二酸化炭素を利用したメタネーションによるエネルギー資源化は、同事業で採択された課題解決モデルの1つであり、世界初の取り組みとなります。

＜環境省委託事業＞

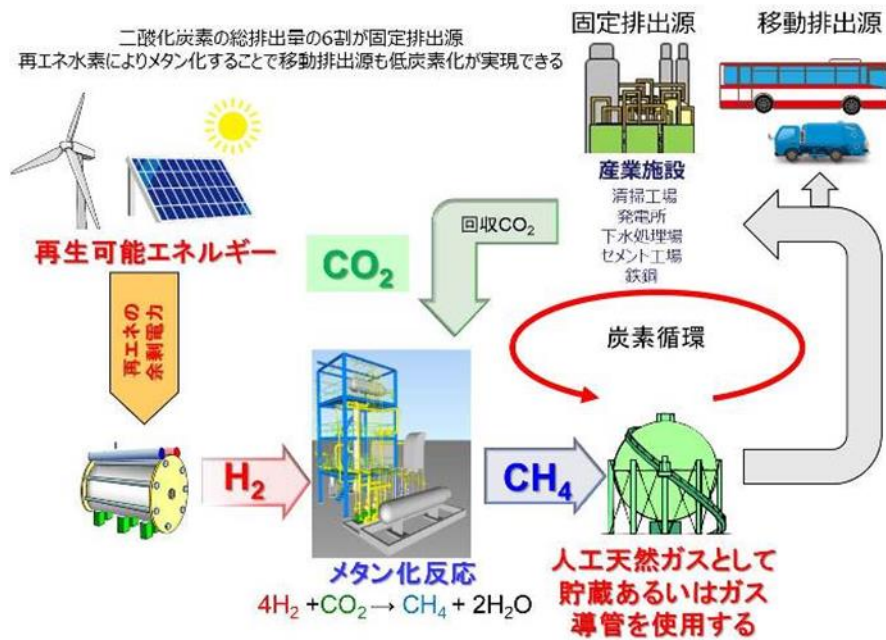
実施場所 : 神奈川県小田原市 環境事業センター

実証期間 : 2018年～2022年(予定)

<実施体制>



<ご参考：炭素循環社会モデルイメージ>



以上

【本件に関するお問合せ先】

◇ エア・ウォーター株式会社 広報・IR部 中井・石井
 〒542-0081 大阪市中央区南船場2丁目12番8号
 TEL : 06-6252-3966 E-mail : info-h@awi.co.jp